

特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター

**Hokkaido Research Center of Geology (HRCG)**

**2023 年度年報**

(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

目 次

I. 北海道総合地質学研究センターについて . . . . .	1
II. 活動および事業 . . . . .	2
III. 会員による研究活動 . . . . .	7
IV. 会計決算 . . . . .	11
V. 後援, 助成金受入れなど . . . . .	13



2024 年 (令和 6 年) 7 月 31 日発行

## I. 北海道総合地質学研究センターについて

### 1. 目的

本法人は、地質学に関する研究・教育・実務などの高度な創造的活動を行なおうとする者のために必要な環境を用意し、その支援を行うとともに成果の普及活動を行い、それによって純粋地質学から自然防災を含む応用的地質学など幅広い範囲におよぶ「総合地質学」の研究の推進、およびそれに基づく社会的貢献、特に一般市民の地質学に関する基礎知識の増進に貢献することを目的とする。

### 2. 法人番号 6-4300-05-012719 (2016年3月1日設立)

### 3. 役員 (2024年3月31日現在)

理事長：宮下 純夫

副理事長：中川 充

専務理事：岡村 聡，嵯峨山 積，関根 達夫

理事：石崎 俊一，岩間 唯史，岡 孝雄，川村 信人，君波 和雄，高波 鐵夫，松田 義章，宮坂 省吾

監事：在田 一則，加藤 孝幸

### 4. 会員 (2024年3月31日現在)

40名。内訳：正会員 19名，一般会員 19名，院生・学生会員 1名，賛助会員 1名

### 5. HRCG ニュースレター購読者 (2024年3月31日現在)

38名 (会員以外)

### 6. 所在地・電話・電子メール・ホームページ

〒005-0012 北海道札幌市南区真駒内上町5丁目5番6号

連絡事務所 〒069-0813 北海道江別市野幌町58番地の7

電話 080-5830-2016 電子メール office@hrcg.jp ホームページ <https://www.hrcg.jp/>

### 7. 定款・設立趣旨書などの文書

定款：<https://hrcg.jp/documents/Teikan.pdf>

設立趣旨書：<https://hrcg.jp/documents/Shushi.pdf>

プライバシーポリシー：<https://hrcg.jp/documents/privacy.pdf>

会員の行動と知的所有権に関する基本的な考え方：<https://hrcg.jp/documents/Chiteki.pdf>

## II. 活動および事業

2023（令和5）年

4月

- 9日 監査（北海道大学総合博物館；在田研究室，15：00～16：20）
- 10日 第10回幹事会 13：30～15：30（オンライン）
- 18日 ニュースレター（no.64）発行
- 19日 法人道民税・法人市民税の減免申請書提出
- 30日 理事会開催メール配信

5月

- 7日 第11回幹事会 10：00～11：30（オンライン開催）
- 10日 一般会員1名退会．名簿およびメーリングリスト更新
- 13日 2023年通常総会・理事会・特別講演会（エルプラザ，13：00～16：45）
- 13日 懇親会
- 13日 正会員1名退会．HP概要頁の大幅更新
- 16日 税務関係書類配達先変更届（道税事務所および市税事務所）
- 17日 札幌法務局および札幌市に定型作成書類提出（理事長）
- 17日 札幌市中央市税事務所より法人市民税の減免承認通知書到着
- 22日 横須賀高校修学旅行・事前学習

6月

- 2日 HRCG HP を見ての電話相談（石川県ネオックス；5日に地質研を紹介）
- 4日 HP のスマートフォン対応版試作
- 4日 第1回幹事会 10：00～12：00（オンライン開催）
- 5日 JST 資料収集担当，札幌市男女共同参画センターへ事務所住所変更届
- 6日 一般会員1名入会．名簿およびメーリングリスト更新
- 6日 HP のスマートフォン対応版実装
- 21日 ニュースレター（no.65）発行
- 23日 北海道新聞「さっぽろ10区」に第11回公開講座の記事掲載

7月

- 1日 第11回公開講座（講師：松田会員）
- 6日 道民カレッジ講座，札幌市と札幌市教育委員会に結果報告
- 7日 第2回幹事会 13：00～14：30（オンライン開催）
- 7日 HRCG 通信第11号発行
- 14日 第12回公開講座を道民カレッジ講座に登録申請，札幌市と札幌市教育委員会に後援申請
- 23日 ニュースレター（no.66）発行
- 29日 第19回研究セミナー・第8回会員交流会（会場参加17名，オンライン参加2名）

29日 懇親会（参加者 13名）

## 8月

2日 HRCG 通信・会費請求書を郵送

29日 第3回幹事会 13:00~14:30（オンライン開催）

31日 ニュースレター（no.67）発行

## 9月

5日 北海道新聞「さっぽろ10区」、くらしの新聞社「まんまる新聞」に記事掲載を依頼

8日 第13回公開講座を道民カレッジ講座に登録申請、札幌市と札幌市教育委員会に後援申請

11日 一般会員の古澤 仁氏（9月2日逝去）退会。名簿およびメーリングリスト更新

16日 横須賀高校厚真見学に伴う下見調査

27日 第4回幹事会 13:00~14:30（オンライン開催）

30日 第12回公開講座（講師：宮坂会員）

## 10月

1日 道民カレッジ連携講座事務局に参加人数を報告

4日 札幌市と札幌市教育委員会に終了報告書、収支報告書および公開講座記録を提出

17日 横須賀高校修学旅行厚真見学

23日 ニュースレター（no.68）発行

24日 第5回幹事会 10:00~11:55（オンライン開催）

25日 HRCG 通信第12号発行

27日 道総研エネルギー・環境・地質研究所へ公文書（松田会員の講演）発送

30日 月刊クオリティより第13回公開講座の記事依頼

## 11月

6日 北海道新聞「さっぽろ10区」、くらしの新聞社「まんまる新聞」に記事掲載依頼

11日 第20回研究セミナー・第9回会員交流会、懇親会

24日 まんまる新聞に第13回公開講座記事掲載

26日 ニュースレター（no.69）発行

## 12月

2日 第13回公開講座（講師：宮下会員）

8日 札幌市と札幌市教育委員会に終了報告書、収支報告書および公開講座記録を提出

25日 「総合地質」7巻1号発行

26日 HP フォーラム頁に HRCG 通信第12号の高波会員記事を調整掲載

## 2024（令和6）年

### 1月

5日 理事長新年挨拶メール

13日 エルプラザ小ロッカーの使用申請書提出

15日 衛生動物学会全国大会への講師派遣依頼メール

22日 近畿ツーリストからの第2回厚真見学依頼メールの報告

29日 固定資産売却申告書（札幌市）を提出

2月

18日 第5回論文輪読会（講師：君波会員，オンライン参加者9名）

21日 HRCG通信第13号発行

25日 第6回幹事会 13:00～14:45（オンライン開催；星野会員オブザーバー参加）

27日 一般会員からの「あの山，何？」相談対応

3月

11日 ニュースレター（no.70）発行

### 公開講座

**第11回** 7月1日開催。講師：松田義章，地質学的に見た手稲山と，その周辺の山々の形成史。（かでの2・7，受講者45名）

**第12回** 9月30日開催。講師：宮坂省吾，札幌を見下ろす山々。（かでの2・7，受講者52名）

**第13回** 12月2日開催。講師：宮下純夫，地球環境問題を考えるー地質学と人類の未来ー。（かでの2・7，受講者34名）

### 総合地質（7巻，1号，12月25日発行）

嵯峨山 積・星野フサ・工藤義衛：2022年通常総会特別講演「石狩低地帯の縄文時代：珪藻・花粉・考古のはなし」

高波鐵夫：最近の北海道およびその周辺の地震活動（2018年1月1日～2023年5月31日）

岡 孝雄・星野フサ・松井 昭・関根達夫・米道 博：北広島市街地北部付近の第四紀の地質と花粉層序

君波和雄：論文紹介

木村方一：追悼文

### 特別講演会（5月13日，札幌エルプラザ）会場参加21名，オンライン参加5名）

宮下純夫：自然災害と地質学

### 第19回研究セミナー・第8回会員交流会（7月29日，かでの2・7）会場参加17名，オンライン参加2名

嵯峨山 積：塩分指数と古石狩湖

石崎俊一：風力発電計画地域の地形・地質特性

宮下純夫：最近の地球科学の話題について

関根達夫：横須賀高校修学旅行の下見報告

### 第20回研究セミナー・第9回会員交流会（11月11日，札幌エルプラザ）会場参加16名，オンライン参加2名

高波鐵夫：最近の千島海溝沿いの地震活動

岡村 聡：三角山の岩石

関根達夫：横須賀高校修学旅行の案内報告

宮下純夫：2021-2022年の大雪と色々な雲の紹介

#### 第5回論文輪読会（2月18日）オンライン参加8名

紹介者：君波和雄，紹介論文：Boschman, L. M., van Hinsbergen, D. J. J. and Spakman, W., 2021, Reconstructing Jurassic-Cretaceous intra-oceanic subduction evolution in the Northwestern Pnthalassa Ocean Using Ocean Plate Stratigraphy from Hokkaido, Japan. *Tectonics*, 40.

### HRCG 通信

#### 第11号（7月7日発行）

札幌市博物館活動センターの紹介（古澤 仁）

斜里町立知床博物館「石磨き宝石講座」の紹介（合地信生）

新年度のご挨拶（宮下純夫）

これからの活動計画

「総合地質」の投稿募集

新理事の紹介（岩間唯史）

#### 第12号（10月25日発行）

巨大津波の地震の早期警報は大丈夫？（高波鐵夫）

稚内層（珪藻質頁岩）の特性は小説よりも奇なり（高田忠彦）

これからの活動計画

会員紹介・会員短信（堺 俊樹）

#### 第13号（2月21日発行）

令和6年能登半島地震 M7.6 には前兆があった（高波鐵夫）

横須賀高校修学旅行現地案内報告（関根達夫）

### ニュースレター（主な記事）

第64号（4月18日配信）2023 通常総会および特別講演会について

第65号（6月21日配信）第11回公開講座のお知らせ

第66号（7月23日配信）第19回研究セミナー・第8回会員交流会について

第67号（8月31日配信）第12回公開講座について

第68号（10月23日配信）第13回公開講座について

第69号（11月26日配信）第13回公開講座について（再度）

第70号（3月11日配信）第14・15回公開講座および2024 通常総会について

## ホームページの情報発信

2023（令和5）年

5月13日 HP概要頁の大幅更新

- 15日 公告頁に決算関係書類を掲載
- 17日 セミナー頁に特別講演会報告を掲載
- 20日 2023年度通常総会報告をMLとHPへ
- 21日 第11回公開講座詳細を掲載
- 23日 2022年度札幌市提出事業報告書を掲載

6月6日 スマホ対応版実装

- 10日 公告頁に総会関連書類を掲載

7月6日 第19回研究セミナー・第8回会員交流会案内を掲載

- 11日 公告頁に第11回公開講座決算関係書類を掲載
- 29日 第19回研究セミナー・第8回会員交流会内容のHP更新
- 31日 セミナー頁に第11回公開講座報告を掲載

8月3日 第19回研究セミナー・第8回会員交流会報告

- 16日 第12回公開講座チラシを調整し掲載

9月11日 第20回研究セミナー・第9回会員交流会案内掲載

10月5日 第13回公開講座案内，チラシ掲載

- 10日 第12回公開講座記録，収支等を調整し掲載
- 16日 HPに第20回研究セミナー・第9回会員交流会内容案内掲載

11月4日 HP概要頁構成員の追加更新

- 14日 第20回研究セミナー・第9回会員交流会報告
- 25日 スライドショー追加更新

12月1日 スライドショー追加更新

- 11日 第13回公開講座関連報告
- 11日 北海道新聞記事紹介，HP更新案内メール発信
- 26日 フォーラム頁にHRCG通信第12号の高波会員記事

2024（令和6）年

1月4日 第5回論文輪読会オンライン開催（2/18）案内

- 15日 スライドショー追加更新

2月11日 第5回論文輪読会再案内をメール配信とHP更新

- 19日 アウトリーチ頁に厚真案内記事
- 24日 第5回論文輪読会報告を掲載
- 25日 2024年度公開講座の日程と会場を掲載

### III. 会員による研究活動

#### 1) 学術論文など (査読有)

- 相澤正隆, 稲葉 充, 岡村 聡, 新城竜一, 2023, 下北半島中部で掘削された SN-010 深部ボーリングコア中の中新統泊火山岩類の岩石記載と層序対比, 地質学雑誌, 129, 587-602. doi:10.5575/geosoc.2023.0025
- 星野フサ, 2023, 花粉化石からみた縄文時代の始まりからの環境変遷の解析. 峨山 積・星野フサ・工藤良衛 編「2022 年通常総会特別講演: 石狩低地帯の縄文時代: 珪藻・花粉・考古のはなし」, 総合地質, 7, 2-4.
- 岡 孝雄・星野フサ・松井 昭・関根達夫・米道 博, 2023, 北広島市街地北部付近の第四紀の地質と花粉層序. 総合地質, 7, 27-54.
- 岡村 聡, 2023, 2 年目を迎えた文献調査—核ゴミの地層処分の問題点. 地学教育と科学運動, 90, 1-5.
- 岡村 聡, 2023, 寿都町・神恵内村における核ゴミの地層処分. 環境と公害, 53, 27-31, 岩波書店.
- 嵯峨山 積, 2023, 縄文海進と石狩平野の形成: 珪藻化石からのアプローチ. 嵯峨山 積・星野フサ・工藤良衛 編「2022 年通常総会特別講演: 石狩低地帯の縄文時代: 珪藻・花粉・考古のはなし」, 総合地質, 7, 5-7.
- 高波鐵夫, 2023, 最近の北海道およびその周辺の地震活動 (2018 年 1 月 1 日~2023 年 5 月 31 日). 総合地質, 7, 13-25.

#### 2) 学術論文など (査読無)

- 星野フサ・萩原法子・春木雅寛・南 雅代・北川浩之・中村俊夫, 2024, 北海道に残存していた常緑針葉樹ツガ属—花粉分析と AMS14C 測定. 名古屋大学年代測定研究, 8, 20-27.
- 川上源太郎・仁科健二 木村克己・嵯峨山 積, 2024, 北海道当別町ビトエ地区で掘削された沖積層ボーリングコア (GS-HTH-1) の層序. エネルギー・環境・地質研究所研究報告, 3, 15-23.

#### 3) 学術書籍, 一般書籍・雑誌など

- 赤井純治・岡村 聡ほか編著, 2024, 地学団体研究会編「最新地学事典」. 平凡社, 1648p., 3 月 21 日刊行.
- 加藤孝幸, 2023, 書評「北海道の縄文文化—こころと暮らし」(亜璃西社, 2021). 北海道自然保護協会会誌: 北海道の自然, no.61.
- 松田義章, 2024, 「小樽軟石」(p.207) および「札幌軟石」(p.556). 地学団体研究会編「最新地学事典」, 平凡社, 3 月 21 日刊行.

#### 4) 学術講演・学会発表 (口頭・ポスター) など

- 石崎俊一, 2023, 風力発電計画地域の地形・地質特性. HRCG 第 19 回研究セミナー・第 8 回会員交流会. 7 月 29 日.
- 加藤孝幸・布川昭一・東海林博・岡本正則・井野憲季, 2023, 地熱調査における伏在断層検出ツールとしての表面波探査 (その 2). 日本地熱学会令和 5 年学術講演会, 講演資料集, 52.
- 宮下純夫, 2023, 最近の地球科学の話題について. HRCG 第 19 回研究セミナー・第 8 回会員交流会. 7 月 29

日.

宮下純夫, 2023, 2021-2022 年の大雪とさまざまな雲の紹介. HRCG 第 20 回研究セミナー・第 9 回会員交流会, 11 月 11 日.

岡村 聡・石崎俊一・石井正之, 2023, 小樽余市周辺の地形・地質と風力発電計画. 地学団体研究会北海道支部総会. 8 月 27 日

岡村 聡, 2023, 寿都町・神恵内村の「対話の場」で示された文献調査報告. 日本地質学会第 130 年学術大会 (京都), 9 月 17 日.

岡村 聡, 2023, 三角山の岩石. HRCG 第 20 回研究セミナー・第 9 回会員交流会, 11 月 11 日.

岡村 聡, 2023, 寿都町・神恵内村の「対話の場」で示された文献調査報告. 高レベル放射性廃棄物処分研究連絡会 (第 9 回), 名古屋大学, 12 月 15 日.

嵯峨山 積, 2023, 北海道長沼町の上部更新統～完新統ボーリング (NGA-1) の珪藻分析. 2023 年度日本地質学会北海道支部例会講演要旨集 (札幌), 9-10, 6 月 17 日.

嵯峨山 積, 2023, 塩分指数と古石狩湖. HRCG 第 19 回研究セミナー・第 8 回会員交流会. 7 月 29 日.

関根達夫, 2023, 横須賀高校修学旅行の下見報告. HRCG 第 19 回研究セミナー・第 8 回会員交流会. 7 月 29 日.

関根達夫, 2023, 横須賀高校修学旅行の案内報告. HRCG 第 20 回研究セミナー・第 9 回会員交流会, 11 月 11 日.

高波鐵夫, 2023, 最近の千島海溝沿いの地震活動. HRCG 第 20 回研究セミナー・第 9 回会員交流会, 11 月 11 日.

## 5) 一般講演

加藤孝幸・三浦孝一・柴田信一・赤井義範・ユーラップジオパーク構想準備会, 2023, 人々が住み着いた八雲平野のでき方を探る. 第 7 回ジオ・フェスティバル in Hakodate.

松田義章, 2023, 小樽の地形と地質～今まで分かっていること, 未だ分かっていること～. 小樽双葉高等学校ドリームプロジェクト・サイエンス専攻「小樽の自然を科学する」講座基調講演, 5 月 18 日.

松田義章, 2023, 小樽の地質と天狗山の生い立ち. 小樽道新文化センター教養講座, 5 月 27 日.

松田義章, 2023, 地質学的に見た手稲山と, その周辺の山々の形成史. HRCG 第 11 回公開講座, 北海道教育委員会 2023 年度前期道民カレッジ連携講座 (教養コース), 7 月 1 日.

松田義章, 2023, 国定公園・小樽海岸の地質と小樽軟石. 小樽道新文化センター教養講座, 7 月 22 日.

松田義章, 2023, 小樽の地質. 令和 5 年 (2023 年) 度小樽商科大学公開講座「小樽学」, 8 月 22 日.

松田義章, 2023, 小樽の川の特長, 特に朝里川はどんな特徴を持っているのか?. 小樽双葉高等学校ドリームプロジェクト・サイエンス専攻「小樽の自然を科学する」講座, 9 月 14 日.

松田義章, 2023, 小・中学校の理科・地質教材指導上の諸問題とその改善に向けて. 第 73 次合同教育研究大会・全道大会 (北見), 10 月 29 日.

松田義章, 2023, 小樽・オタモイの地質. 地方独立行政法人北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所主催: エネ環地研サイエンス・カフェ in 小樽, 「かつてあった謎のオタモイ遊園地」, 11 月 26 日.

松田義章, 2023, 石狩湾沿岸に分布する砂の特徴: 砂を調べるとどんなことが分かるのか?. 小樽双葉高等学校・ドリームプロジェクト・サイエンス専攻「小樽の自然を科学する」講座. 12月7日.

宮坂省吾, 2023, 札幌を見下ろす山々. HRCG 第12回公開講座, 北海道教育委員会 2023年度前期道民カレッジ連携講座(教養コース), 9月30日.

宮下純夫, 2023, 自然災害と地質学. HRCG 特別講演会, 5月13日.

宮下純夫, 2023, 地球環境問題を考えるー地質学と人類の未来ー. HRCG 第13回公開講座, 北海道教育委員会 2023年度前期道民カレッジ連携講座(教養コース), 12月2日.

岡村 聡・石崎俊一・石井正之, 2023, 小樽余市周辺の地形と地質の特徴ー地質災害に備えるためにー. 仁木町の風力発電を考える会, 4月15日.

岡村 聡・内山幸二, 2023, 札幌市三角山の最新の岩石学的研究. 地学団体研究会北海道支部巡検, 2023年10月21日.

岡村 聡, 2023, 神恵内村周辺の地質と地層処分問題. 高レベル放射性廃棄物の文献調査に関するシンポジウム, 2023年度北海道(寿都町, 神恵内村)における理解促進活動補助事業(神恵内村), 11月25日.

#### 6) 巡検・見学会リーダーなど

加藤孝幸, 2023, 三石, 蓬萊山公園周辺の地形と岩石. 日高山脈ネイチャーセミナー2023.

松田義章, 2023, 小樽の地質と天狗山の生い立ち. 小樽道新文化センター教養講座: フィールドワーク, 6月3日.

松田義章, 2023, 小樽の考古遺跡(忍路・三笠山環状列石と地鎮山環状列石)の地学. 小樽双葉高等学校・ドリームプロジェクト・サイエンス専攻「小樽の自然を科学する」講座: フィールドワーク, 6月8日.

松田義章, 2023, 小樽・天狗山の生い立ちを探る. 小樽双葉高等学校・ドリームプロジェクト・サイエンス専攻「小樽の自然を科学する」講座: フィールドワーク, 6月15日.

松田義章, 2023, 小樽運河周辺の倉庫をつくっている石: 小樽軟石と札幌軟石とそのルーツを探る. 小樽双葉高等学校・ドリームプロジェクト・サイエンス専攻「小樽の自然を科学する」講座: フィールドワーク, 6月29日.

松田義章, 2023, 小樽・忍路半島で約1,000万年前の海底火山の噴出物の産状を探る. 小樽双葉高等学校・ドリームプロジェクト・サイエンス専攻「小樽の自然を科学する」講座: フィールドワーク, 7月6日.

松田義章, 2023, 小樽・積丹半島の大地の生い立ちを探る〜風景を読む地学の試み〜. 北海道教職員組合主催・夏の研修(フィールドワーク), 8月5~6日.

松田義章, 2023, 小樽・忍路半島で約1,000万年前の海底火山噴出物の産状を探る. 小樽双葉高等学校・ドリームプロジェクト・サイエンス専攻「小樽の自然を科学する」講座: フィールドワーク, 8月24日.

松田義章, 2023, 国定公園・小樽海岸の地質と小樽軟石. 小樽道新文化センター教養講座: フィールドワー, 8月26日.

松田義章, 2023, 小樽・余市の考古遺跡(小樽・手宮洞窟遺跡と余市・フゴッペ洞窟遺跡)を科学する. 小樽双葉高等学校・ドリームプロジェクト・サイエンス専攻「小樽の自然を科学する」講座: フィールドワーク, 10月5日.

松田義章, 2023, 小樽の地質と岩石を探る野外巡検. 北海道の石を訪ねて歩く会主催, 10月18日.

松田義章, 2023, 小樽・朝里川周辺の地形・地質・岩石の特徴を探る. 小樽双葉高等学校・ドリームプロジェクト・サイエンス専攻「小樽の自然を科学する」講座：フィールドワーク, 11月9日.

宮坂省吾・在田一則・矢部和夫・岡村 聡・内山幸二, 2023, 街中ジオ散歩「三角山」－大倉山展望台と三角山採石場跡地－. 北海道自然保護協会, 6月10日.

堺 俊樹・内山幸二, 2023, 第4回北加伊道地質観察会－白老～倶知安方面－. 北加伊道地質観察会実行委員会・山の手博物館, 10月14日.

## IV. 会計決算

2024年3月末（2023年度）

特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究所  
2023年度決算

2023年4月1日～2024年3月31日（単位：円）

収入	決算額-予算額=比較増減（△：減）			
<b>I. 経常収益</b>				
科目	予算	決算	比較増減	備考
<b>1. 受取会費</b>				
正会員受取会費	108,000	114,000	6,000	19名、6,000円×18名+6,000円(次年度納入済1名)
一般会員受取会費	43,000	43,000	0	22名、2,000円×19名+1,000円(前年半年分1名)+4,000円（22年度分2名）、未納者1名。
賛助会員受取会費	10,000	10,000	0	1名
院生・学生会員受取会費	1,000	2,000	1,000	1,000円×1名+1,000円(次年度納入済)
受取会費合計	162,000	169,000	7,000	
<b>2. 受取寄付金</b>				
受取寄付金	20,000	540	△ 19,460	送立代替分（5/4）
受取寄付金合計	20,000	540	△ 19,460	
<b>3. 受取助成金等</b>				
受取助成金	0	0	0	
受取補助金	0	0	0	
受取助成金等合計	0	0	0	
<b>4. 事業収益</b>				
総合地質出版事業	15,000	0	△ 15,000	総合地質7巻1号」原稿校正は完了、印刷・製本は次年度
研究セミナー開催事業	0	0	0	第19回 19名（内、オンライン参加2名）、第20回 18名（内、オンライン参加2名）
公開講座実施事業	97,500	115,600	18,100	第11回_45名、第12回_52名、第13回_34名
公開講座資料販売	3,000	3,800	800	第12回_200円×7部、第13回_200円×(7+5)部
アウトリーチ事業	0	0	0	
事業収益合計	115,500	119,400	3,900	
<b>5. その他収益</b>				
受取利息	4	4	0	ゆうちょ銀行預金利息
雑収益	1,000	1,000	0	過払金の返金（7/1立替払_7,200⇒6,200変更）
その他収益合計	1,004	1,004	0	
経常収益合計	298,504	289,944	△ 8,560	

支出	予算額-決算額=比較増減（△：減）			
<b>II. 経常費用</b>				
科目	予算	決算	比較増減	備考
<b>1. 事業費</b>				
<b>(1) 人件費</b>				
給与	0	0	0	計上せず＝職員を雇用せず
謝金	0	0	0	
役務報償費	0	0	0	
人件費合計	0	0	0	
<b>(2) その他経費</b>				
講義準備・資料作製準備必要経費	36,000	36,000	0	第11回・第12回・第13回公開講座担当者（12,000円×3回）
会場費	24,500	16,600	7,900	第19回研究セミナー（4,400円、7月）、第14・15回公開講座（4,400円・5,500円）、第20回研究セミナー・会員交流会（2,300円、11月）
旅費・交通費	3,500	0	3,500	
広報・宣伝費	1,000	0	1,000	
通信費	15,000	7,048	7,952	公開講座チラシ：(郵便)5,292円、特別講演・公開講座・セミナー案内：(郵便)756円、セミナー時Zoom：500円×2回（7・11月）
印刷・製本費	72,000	42,038	29,962	第11回公開講座チラシ（3,910円）、第12回公開講座チラシ（3,718円）、第13回公開講座チラシ（3,410円）、公開講座資料印刷経費(通信印刷費含む)（第11回_10,000円・第12回_11,000円・第13回_10,000円）、「総合地質7巻1号」原稿校正は完了、印刷・製本は次年度
事務用品費	1,000	0	1,000	
消耗品費	5,000	0	5,000	
支払手数料	660	1,070	△ 410	口座振込（プリントバック：100円×3回分）、仮払金硬貨引出手数料（110円×7回分）

事業雑経費	30,000	6,280	23,720	第19回研究セミナー：電気・スクリーン_440円、公開講座（14回：電気・スクリーン・マイク・音響装置等、1,690円、15回：電気・スクリーン・マイク・音響装置等、2,790円、第20回研究セミナー・会員交流会：wif_1700円、HDMIケーブル代：660円（第13回公開講座）
事業予備費	0	0	0	計上せず
その他経費合計	188,660	109,036	79,624	
事業費合計	188,660	109,036	79,624	
2. 管理費				
(1) 人件費				
役員報酬	0	0	0	計上せず
給与	0	0	0	計上せず＝職員を雇用せず
謝金	5,000	0	5,000	事務作業補助、会計作業補助、ホームページ更新作業補助など
役務報償費	0	0	0	
人件費合計	5,000	0	5,000	
(2) その他経費				
事務所費	0	0	0	
会議・会場費	3,500	2,600	900	2024年総会用（エルプラザ）
旅費・交通費	8,000	1,760	6,240	法務局との協議：1,760円_5月
広報・宣伝費	3,000	0	3,000	
通信費	40,000	38,784	1,216	総会関係郵送代：540円、インターネット環境：17,402円（サーバーレンタル：13,200円、ドメイン更新：4,202円）、携帯電話：17,282円、切手代：60円、幹事会時Zoom：3,500円（500円×7回）
印刷・製本費	5,000	0	5,000	
事務用品費	3,000	0	3,000	
消耗品費	3,244	1,060	2,184	封筒代：650円、書類管理ファイル：220円、資料コピー代：190円
支払手数料	500	310	190	振込手数料100円×2回、硬貨引出し手数料110円
管理雑経費	6,000	5,500	500	2023年総会時wifi使用料：700円、ロッカー代、24年度：4,800円（400円×12ヶ月）
管理予備費	5,000	5,000	0	情報基盤管理手当（担当者）
管理事務作業環境提供	3,600	3,600	0	理事長（200円×12ヶ月）、副理事長（100円×12ヶ月）

事務作業経費	24,000	10,000	24,000	理事長：10,000円
その他経費合計	104,844	68,614	36,230	
管理費合計	109,844	68,614	41,230	
経常費用合計	298,504	177,650	120,854	事業費合計+管理費合計

科目	予算	決算	比較増減	備考
当期経常増減額	0	112,294	112,294	経常収益合計-経常費用合計（△：減）

III. 経常外収益				
科目	予算	決算	比較増減	備考
経常外収益	0	0	0	
経常外収益合計	0	0	0	

IV. 経常外費用				
科目	予算	決算	比較増減	備考
経常外費用	0	0	0	
経常外費用合計	0	0	0	

科目	予算	決算	比較増減	備考
当期経常外増減額	0	0	0	経常外収益合計-経常外費用合計（△：減）

科目	予算	決算	比較増減	備考
税引前当期正味財産増減額	0	112,294	112,294	（△：減）
法人税	0	0	0	免除予定
法人道民税均等割	0	0	0	20,000円、免除予定
法人市民税均等割	0	0	0	50,000円、免除予定
前期繰越正味財産額	503,540	503,540	0	
次期繰越正味財産額	503,540	615,834	112,294	前期繰越正味財産額 503,540円+当期財産正味増減額 112,294円 = 615,834円

付記：「収入」ならびに「支出」については、2023年度決算より一般的な理解しやすい計算式で算出した（欄外に掲載）。

「差額」については、汎用的な会計ソフト等での使用例に準拠して「比較増減」に変更致した。

## V. 後援, 助成金受入れなど

### 1) 後援など

第 11 回～第 13 回公開講座について, 札幌市と札幌市教育委員会よりご後援をいただいた.

### 2) 助成金などの受入れ

なし

北海道総合地質学研究センター年報編集担当 嗟峨山 積